

行政視察報告書

平成29年10月6日

委員会名		議会広報広聴常任委員会
参加者	委員長	浅野 彰太
	副委員長	吉田 福治
	委員	鈴木 敦子 川崎 雅一 井上 昌彦 神戸 秀典 奥山 孝二郎 井原 義雄
期間		平成29年7月27日(木)～28日(金)
視察地、 調査項目 及び概要	大阪府 泉大津市	<p>1. インターネットの活用について</p> <p>(1) 市議会ホームページについて</p> <p style="margin-left: 20px;">ア ウェブサイトのリニューアル</p> <p style="margin-left: 40px;">平成26年10月の議会改革検討委員会で、市議会独自のURLを持ったホームページの作成について協議され、平成27年度から316万8,000円を予算化し、平成28年度以降はその維持費として40万2,600円を予算化することに決定した。</p> <p style="margin-left: 40px;">平成27年2月に議会改革検討委員会内の委員5名による専門チームを立ち上げ、委員よりホームページへ反映する機能と内容を確認した。その後、会議録関係の専門業者である株式会社会議録研究所から、会議録検索システム「Discussシステム」について説明を受け、システムの導入を進めていった。</p> <p style="margin-left: 40px;">会議録検索システムの仕様書の作成は、議会改革検討委員会の専門チームが行い、その後、議会運営委員会に仕様、契約方法等を報告した。同年3月には、株式会社会議録研究所の「Discussシリーズ」を利用したホームページ、会議録検索システム、ファイルシステムを委託契約することが議会運営委員会で決定した。</p> <p style="margin-left: 40px;">さらに、同年6月からは、議会改革検討委員会にて、ホームページの構成等について複数回にわたり協議がなされ、9月1日にリニューアルがなされた。</p> <p style="margin-left: 40px;">リニューアルされたホームページは、「議会は意外とおもしろい」をキャッチコピーに、議会の写真だけでなく、泉大津市の行事や名所の写真をトップページにスライド式で流れるようにした。また、議会フェイスブックを開設し、ホームページでリンクできるようにした。</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 市議会キッズページ</p> <p style="margin-left: 40px;">子どもたちに議会へ興味、関心を持ってもらうため、市議会キッズページを開設している。「市議会って何をするとところ?」、「どこで話し合っているの?」、「市議会クイズ」の3つのページを設け、イラスト、写真を掲載し、子どもたちにも見やすいものとなっている。市議会を紹介する「市議会って何をするとところ?」のページでは、子どもたちにも読みやすい言葉遣いや漢字の表記となっている。「どこで話し合っているの?」のページでは、議場全体の写真や、議長席、理事者席、議員席等及び、傍聴席、さらには中継用カメラの写真を掲載し、関心を持ってもらう工夫がなされている。特に「市議会クイズ」のページでは、泉大津市のマスコットキャラクター「おづみん」を登場させ、クイズ形式で議会の仕組みについて理解してもらえる内容となっている。</p> <p>(2) フェイスブックの活用について</p> <p style="margin-left: 20px;">市議会に関する情報をより広く知ってもらうため、平成27年8月から議会フェイスブックを開設している。フェイスブックの運用方針を定め、記事の編集や写真の投稿等のページの管理・運営は議会事務局で行っている。また、コメントに対する返信は、原則として行わないこととしている。</p> <p style="margin-left: 20px;">フェイスブックのメリットは、情報を即座に発信できることにある。一般質問のタイトルや要旨を速やかに掲載し、知りたい人にすぐ伝えることができるような仕組みになっている。</p> <p>2. 意見交換会について</p> <p style="margin-left: 20px;">平成26年7月1日に、泉大津市議会では議会基本条例を施行した。当該条例では「市民のための、市民に分かりやすい、市民に関われた議会」、「二代表制の役割と機能向上を図る議会」、「市民が政治に関心を持ち、新たに政治に参加、挑戦したいと思える議会」を目指すことを目的とし、市民の生の声を聞き、執行部への提案につなげるため、市民団体との意見交換会を実施している。</p> <p style="margin-left: 20px;">第1回は平成26年10月に、泉大津市保護司会・更生保護女性会と「本市の更生保護事業について」、第2回は平成27年2月に、泉大津市文化協会と「文化協会の活動について」、第3回は同年8月に、商工会議所と「地場産業の振興・商業振興と地域の活性化について」、第4回は同年10月に、泉大津市吹奏楽団と「音楽を通じた青少年の健全育成について」、第5回は平成28年4月に、再び保護司会・更生保護女性会と「更生保護事業の現状と今後の課題について」をそれぞれテーマに意見交換会を行った。</p> <p>3. 議会傍聴よびかけ隊について</p> <p style="margin-left: 20px;">市民に関われた議会を目指し、議員自ら市内各所にて本会議への傍聴を呼びかけることで、より多くの市民に議会に対する関心を持ってもらうことを目的とした「議会傍聴よびかけ隊」</p>

		<p>を、平成22年2月から全議員で編成し、実施している。</p> <p>具体的な活動方法としては、3班に分かれて、市内の駅やスーパーマーケット等で、1人50枚を目安としたチラシ配布とマイクによる宣伝活動を行っており、一般質問の発言通告書締切日の夕方から1時間程度に実施することとしている。ただし、マイクで呼びかける内容については、議員個人の宣伝活動とならないよう、基本的にチラシに書かれているものとしている。</p> <p>この活動は、定例会ごと(年4回)に行っており、現在までに29回行った。また、活動費用は、会派人数により按分し、政務活動費にて支出している。</p>
<p>視察地、 調査項目 及び概要</p>	<p>兵庫県 神戸市</p>	<p>1. 神戸市会活性化に向けた改革検討会における広報広聴の取り組み</p> <p>神戸市会では、平成23年7月に「神戸市会活性化に向けた改革検討会」を設置し、「執行機関に対するチェック機能の強化」、「政策立案・提言機能の充実」、「市民参加の積極的な促進」、「議会及び議員活動のあり方等」の4つの項目を柱として検討を行い、平成24年8月に「神戸市会活性化に向けた改革検討会報告書」として取りまとめられた。</p> <p>市民参加の積極的な促進としての取り組みで実現したものは、「本会議のインターネット中継について、録画放映から生中継・録画放映に拡大し、スマートフォン・タブレットに対応。また、平成27年6月から手話通訳を導入」、「常任委員会・特別委員会において、インターネット生中継・録画放映を実施」、「議案書・委員会資料をPDFファイルにして、事前に市会ホームページに掲載」、「議案等に関する各会派の賛否を市会ホームページに掲載」、「市会日程、審議結果などをお知らせする市会メールマガジンの配信を開始」、「市会事務局フェイスブックを開設」が挙げられる。</p> <p>2. インターネットの活用について</p> <p>(1) 神戸市会ホームページ</p> <p>本会議や委員会の日程、議員の紹介、会議録、本会議の議案、委員会資料、インターネット中継など、市会に関する情報を幅広く提供している。</p> <p>閲覧したい情報を見つけやすいよう、利用の多い4項目(日程、議員の紹介、会議録検索システム、インターネット中継)をバナーで上部に配置するレイアウトとなっている。また、情報を大きく16項目に分類し、項目ごとに細かなメニュー(小項目)も表示するなどの工夫がなされている。なお、平成28年度のトップページアクセス数は、約13万8千件である。</p> <p>また、情報公開の1つとして、平成27年度分から政務活動費については、インターネットでの公開を拡大し、領収書等の写し、調査委託に係る調査報告書の写し、海外における管外調査報告書、会派広報印刷物、会派広聴印刷物を公開の対象とした。また、委員会視察調査報告には、行政視察や実地調査についての報告を掲載することとしている。</p> <p>(2) インターネット議会中継</p> <p>本会議中継については、録画放映は平成19年第3回定例会から、生中継は平成24年第2回定例会から実施されている。また、平成26年4月からはスマートフォン、タブレットでの視聴に対応し、平成27年6月からはインターネットに手話通訳も導入している。</p> <p>常任委員会、特別委員会中継については、録画中継、生中継ともに平成24年第3回定例会から実施し、平成28年9月からはスマートフォン、タブレットでの視聴に対応している。</p> <p>3. メールマガジンについて</p> <p>市会日程、審議結果などに関する市会メールマガジンの配信を平成23年6月に開始した。登録者数は約1,750人であり、うち約1,000人は行政関係者である。内容は、ホームページ更新のお知らせを中心に随時配信している。</p> <p>なお、配信における原稿作成などの作業は市会事務局で行っている。</p> <p>4. フェイスブックの活用について</p> <p>神戸市会事務局フェイスブックを平成25年2月に開始した。平成29年7月10日現在、「いいね!」は1,152件である。</p> <p>本会議や常任委員会の日程の案内だけでなく、市会事務局職員の苦労話や裏話なども掲載している。投稿文には、投稿者のイニシャルを付け、誰が投稿したのか分かるようにし、読者に身近に感じてもらえるような工夫がなされている。</p> <p>市会事務局から一方的に情報発信するのではなく、読者からのコメントには可能な限り返信しており、市会事務局と読者が双方向となることを目指している。</p> <p>5. 市民報告会について</p> <p>平成27年5月に、神戸市会未来都市創造に関する特別委員会主催で市民報告会を実施した。委員会で進めてきた調査の成果として、市長に提出した「神戸の未来都市創造に向けた提言書」の内容等を広く市民に知ってもらうことを目的に、市会本会議場で開催し、市民170名が参加した。</p> <p>報告会は2部構成となっており、第1部に委員会活動報告、第2部には参考人として専門家を招致し、「神戸の魅力と未来」をテーマにパネルディスカッションを実施した。</p> <p>6. その他取り組んでいる広報広聴活動について</p> <p>市民に神戸市会をより身近に感じてもらうために、小学校などの学校関係のほか、婦人会や自治会など各種団体の議場見学を受け付けている。</p>

